

【公 表】事業所における自己評価総括表

事業所名	児童ルームたちキッズ鳥栖中央			
保護者評価実施期間	令和 7 年 9 月 1 日 ～ 令和 7 年 9 月 30 日			
保護者評価有効回答数	対象者数	38名(33件)	回答者数	35名(30件)
従業者評価実施期間	令和 6 年 9 月 1 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日			
従業者評価有効回答数	対象者数	7名	回答者数	7名
総括表作成日	令和 7 年 11 月 1 日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的スタッフの配置（ST、OT、児童指導員、保育士）がなされている。	各々の視点から、お子様の課題や保護者様のニーズへお答えが出来るよう、支援及び情報交換等行っている。	1人1人が様々な研修に参加しながら、知見を広げ、様々な選択肢の提供が出来るよう取り組むことが大切。
2	療育プログラム（イベントや集団活動等）の様々な体験。	学校休業日には、お子様にとって新しい刺激や体験が出来るよう、初めての物にも多く挑戦している。 学校通常日にも楽しみながら参加が出来るよう様々な内容の活動を用意している。	体験内容としては偏りすぎず、同じものにならない様、工夫しながら目的を設定し、幅広い活動を提供できることが大切。
3	質問や相談に対する丁寧な対応。	何か困りごとや相談などがあった際に、迅速かつ丁寧な対応をし、解決に向けた対応を意識している。	スタッフ間での情報共有や提供を常に意識して、円滑なサポートが出来るよう備えることが大切。また、項目1と同じく、知見を広げて様々な選択肢を提供できることが大切。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	・地域交流の機会が不十分である事。	・地域イベントや交流に必要な体制が整っていない。	・交流や参加に伴う必要な体制を検討していく必要がある。 主に、実施の為の連携先の確保やイベント情報等の入手方法の確立。
2	・保護者交流の場の少なさ。	・保護者交流会を実施しているが、年に1回の開催であるため、ご都合がつかず参加困難なご家庭がある。	・中規模程度の交流会や、学校ごとなどの交流会の実施も視野に入れて検討していく必要がある。
3	・ペアレントトレーニングの周知	・相談、質問時にのみ対応等を伝えていること。	・事業所のみではなく、ペアレントトレーニングや講話等の情報を、定期的に提供することが必要。